



平成24年 2 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成23年10月12日

上場会社名 コーナン商事株式会社 上場取引所 東証・大証
コード番号 7516 URL <http://www.hc-kohnan.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 疋田 耕造
問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 総合企画担当 (氏名) 品川 良一 (TEL) 072 (274) 1621
四半期報告書提出予定日 平成23年10月14日 配当支払開始予定日 平成23年11月10日
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 平成24年 2 月期第 2 四半期の業績（平成23年 3 月 1 日～平成23年 8 月31日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
24年 2 月期第 2 四半期	146,506	3.6	11,931	31.3	10,701	48.3	6,082	70.8
23年 2 月期第 2 四半期	141,383	△3.5	9,088	13.4	7,213	26.4	3,561	286.3

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
24年 2 月期第 2 四半期	193	77	175	55
23年 2 月期第 2 四半期	115	21	114	86

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
24年 2 月期第 2 四半期	242,687	71,411	29.4	2,169 84
23年 2 月期	226,714	63,569	28.0	2,056 38

（参考）自己資本 24年 2 月期第 2 四半期 71,411百万円 23年 2 月期 63,569百万円

2. 配当の状況

	年間配当金									
	第 1 四半期末		第 2 四半期末		第 3 四半期末		期 末		合 計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
23年 2 月期	—	—	11	00	—	—	11	00	22	00
24年 2 月期	—	—	14	00						
24年 2 月期（予想）					—	—	14	00	28	00

（注）当四半期における配当予想の修正有無：無

3. 平成24年 2 月期の業績予想（平成23年 3 月 1 日～平成24年 2 月29日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	285,300	3.4	20,600	24.0	17,700	34.6	10,000	50.9	310 98

（注）当四半期における業績予想の修正有無：無

4. その他（詳細は、[添付資料] P. 3「2. その他の情報」をご覧ください。）

（1）簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用： 無

（注）簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

（2）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更： 有

② ①以外の変更： 無

（注）「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年2月期2Q	32,989,118株	23年2月期	30,991,240株
24年2月期2Q	78,111株	23年2月期	78,072株
24年2月期2Q	31,388,676株	23年2月期2Q	30,912,628株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、その四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続の実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想につきましては、現時点における入手可能な情報に基づくものであり、不確実な要素を含んでおります。実際の業績は、今後発生する様々な要因により異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	9
商品部門別売上高明細表	9

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

第2四半期累計期間におけるホームセンター業界では、東日本大震災発生後、商品供給の制約に対する懸念等から駆け込み的需要が生じたほか、節電や暑さ対策に適した商品の需要が増加しました。また、地上デジタル放送への完全移行に伴い、テレビアンテナやアンテナパーツ等が好調に推移しました。もっとも、海外経済の減速懸念等から国内景気の先行きは不透明であり、依然として厳しい経営環境が続いております。

この様な状況のもと、当第2四半期にホームセンター2店舗（兵庫県）、プロを2店舗（大阪府）出店し、8月末現在の店舗数は234店舗（うち、ホームストックは54店舗）となりました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は146,506百万円（前年同四半期比3.6%増）となりました。商品部門別では、震災及び省エネ対応で乾電池、LED電球、扇風機等の売上急増から、電材・照明及び家電関連が高い伸びとなり、また、木材・建材、塗料・作業用品なども堅調となった反面、カー用品、ペット用品、文具・事務用品等は伸び悩みました。

売上高が増加したことに加え、売上総利益率が35.3%と前年同四半期比1.8ポイント向上したことにより、売上総利益は51,702百万円（前年同四半期比9.0%増）となりました。営業収入は6,311百万円（前年同四半期比0.5%減）、販売費及び一般管理費は46,082百万円（前年同四半期比3.2%増）となり、営業利益は11,931百万円（前年同四半期比31.3%増）となりました。

経常利益は、営業利益が増加したほか、為替差損が減少したことにより10,701百万円（前年同四半期比48.3%増）と大幅増益となりました。また、四半期純利益は、特別損失に資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額547百万円を計上したものの減損損失の計上がなかったため、6,082百万円（前年同四半期比70.8%増）と大幅増益となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(財政状態の変動状況)

当第2四半期末の総資産は前期末より15,973百万円増加し、242,687百万円となりました。有形固定資産が5,541百万円増加した他、商品が6,902百万円、差入保証金が997百万円増加したことなどによります。

当第2四半期末の純資産は71,411百万円で、自己資本比率は前期末より1.4ポイント向上し、29.4%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期末の現金及び現金同等物の残高は、前期末に比べ571百万円増加し、6,748百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期純利益が10,589百万円となった他、仕入債務の増加額4,008百万円の収入がありましたが、たな卸資産の増加額7,026百万円、法人税等の支払額4,486百万円などの支出があったことにより、4,872百万円の収入（前年同四半期比55.5%減）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、新規出店等に伴う有形固定資産の取得による支出6,813百万円及び差入保証金の差入による支出1,798百万円などにより、8,593百万円の支出（前年同四半期比80.3%増）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の純増加額が4,944百万円となったことにより、4,292百万円の収入（前年同四半期は2,399百万円の支出）となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成24年2月期の通期の業績予想は、当第2四半期の業績等を踏まえて、平成23年10月5日付で修正しております。

通期の業績予想については、売上高285,300百万円（前期比3.4%増）、営業利益20,600百万円（前期比24.0%増）、経常利益17,700百万円（前期比34.6%増）、当期純利益10,000百万円（前期比50.9%増）と見込んでおります。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

・資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益はそれぞれ37百万円、税引前四半期純利益は584百万円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は1,612百万円であります。

3. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期会計期間末 (平成23年8月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成23年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,767	6,195
売掛金	3,417	2,944
商品及び製品	60,540	53,637
原材料及び貯蔵品	509	384
繰延税金資産	2,022	2,229
その他	6,503	5,099
貸倒引当金	△69	△56
流動資産合計	79,690	70,435
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	65,687	60,580
土地	28,861	28,861
建設仮勘定	929	763
その他（純額）	13,900	13,631
有形固定資産合計	109,379	103,837
無形固定資産	5,163	5,095
投資その他の資産		
投資有価証券	1,555	1,562
差入保証金	43,748	42,751
その他	3,194	3,080
貸倒引当金	△44	△48
投資その他の資産合計	48,454	47,345
固定資産合計	162,997	156,278
資産合計	242,687	226,714
負債の部		
流動負債		
買掛金	25,240	21,231
短期借入金	—	1,000
1年内返済予定の長期借入金	30,361	29,573
1年内償還予定の社債	625	468
未払法人税等	4,819	4,719
賞与引当金	1,193	1,169
役員賞与引当金	106	115
店舗閉鎖損失引当金	452	518
為替予約	1,262	1,674
その他	9,395	8,679
流動負債合計	73,457	69,148

(単位：百万円)

	当第2四半期会計期間末 (平成23年8月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成23年2月28日)
固定負債		
社債	3,324	5,531
長期借入金	67,305	62,149
資産除去債務	1,665	—
繰延税金負債	771	912
受入保証金	14,435	14,612
その他	10,315	10,790
固定負債合計	97,818	93,996
負債合計	171,276	163,144
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,856	15,909
資本剰余金	17,114	16,167
利益剰余金	38,311	32,568
自己株式	△111	△111
株主資本合計	72,170	64,534
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△10	27
繰延ヘッジ損益	△748	△992
評価・換算差額等合計	△759	△965
純資産合計	71,411	63,569
負債純資産合計	242,687	226,714

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成22年3月1日 至 平成22年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年8月31日)
売上高	141,383	146,506
売上原価	93,965	94,804
売上総利益	47,417	51,702
営業収入	6,340	6,311
販売費及び一般管理費	44,670	46,082
営業利益	9,088	11,931
営業外収益		
受取利息	78	74
受取配当金	37	38
匿名組合投資利益	—	60
その他	84	102
営業外収益合計	201	276
営業外費用		
支払利息	1,314	1,187
為替差損	563	201
その他	197	117
営業外費用合計	2,075	1,506
経常利益	7,213	10,701
特別利益		
固定資産受贈益	—	416
受入保証金解約益	72	—
店舗閉鎖損失引当金戻入額	—	40
特別利益合計	72	457
特別損失		
固定資産除却損	89	21
投資有価証券評価損	3	—
減損損失	603	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	547
特別損失合計	696	568
税引前四半期純利益	6,589	10,589
法人税、住民税及び事業税	3,026	4,582
法人税等調整額	1	△75
法人税等合計	3,027	4,507
四半期純利益	3,561	6,082

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成22年3月1日 至 平成22年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	6,589	10,589
減価償却費	2,749	3,007
のれん償却額	82	82
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	—	△65
固定資産受贈益	—	△416
固定資産除却損	89	21
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	547
減損損失	603	—
受取利息及び受取配当金	△116	△113
支払利息	1,314	1,187
売上債権の増減額(△は増加)	△661	△472
たな卸資産の増減額(△は増加)	625	△7,026
仕入債務の増減額(△は減少)	2,588	4,008
その他	△1,004	△869
小計	12,861	10,480
利息及び配当金の受取額	43	43
利息の支払額	△1,379	△1,164
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△573	△4,486
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,952	4,872
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,818	△6,813
差入保証金の差入による支出	△852	△1,798
差入保証金の回収による収入	689	829
預り保証金の受入による収入	47	83
預り保証金の返還による支出	△305	△303
その他	△525	△590
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,766	△8,593
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	4,000	1,000
短期借入金の返済による支出	△5,000	△2,000
長期借入れによる収入	18,500	20,500
長期借入金の返済による支出	△14,910	△14,555
リース債務の返済による支出	△95	△106
セール・アンド・割賦バックによる収入	3,218	523
割賦債務の返済による支出	△335	△572
社債の発行による収入	2,500	—
社債の償還による支出	△10,000	△156
配当金の支払額	△278	△339
その他	1	△0

(単位：百万円)

	前第 2 四半期累計期間 (自 平成22年 3 月 1 日 至 平成22年 8 月31日)	当第 2 四半期累計期間 (自 平成23年 3 月 1 日 至 平成23年 8 月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,399	4,292
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	3,786	571
現金及び現金同等物の期首残高	5,048	6,176
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,834	6,748

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

商品部門別売上高明細表

商 品 部 門 別	金 額 (百万円)	前 年 同 期 比 (%)
ホームインプルーブメント (D I Y用品)	51,083	106.3
ハウスキーピング (家庭用品)	65,023	104.5
カー・レジャー (カー・レジャー用品)	27,725	95.7
その他	2,674	126.4
合 計	146,506	103.6

(注) 1. 商品部門別の各構成内容は、次のとおりであります。

- (1) ホームインプルーブメント (木材・建材、工具、建築金物、塗料・作業用品、園芸用品、園芸植物、資材、エクステリア、水道、住設機器、リフォーム)
- (2) ハウスキーピング (ダイニング用品、インテリア、電材・照明、日用品、収納用品、薬品、履物・衣料、家庭雑貨品、家電、介護用品、フード、酒類)
- (3) カー・レジャー (カー用品、ペット用品、文具・事務用品、サイクル・レジャー用品)
- (4) その他 (バラエティグッズ、書籍、自動販売機、灯油)

2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。